

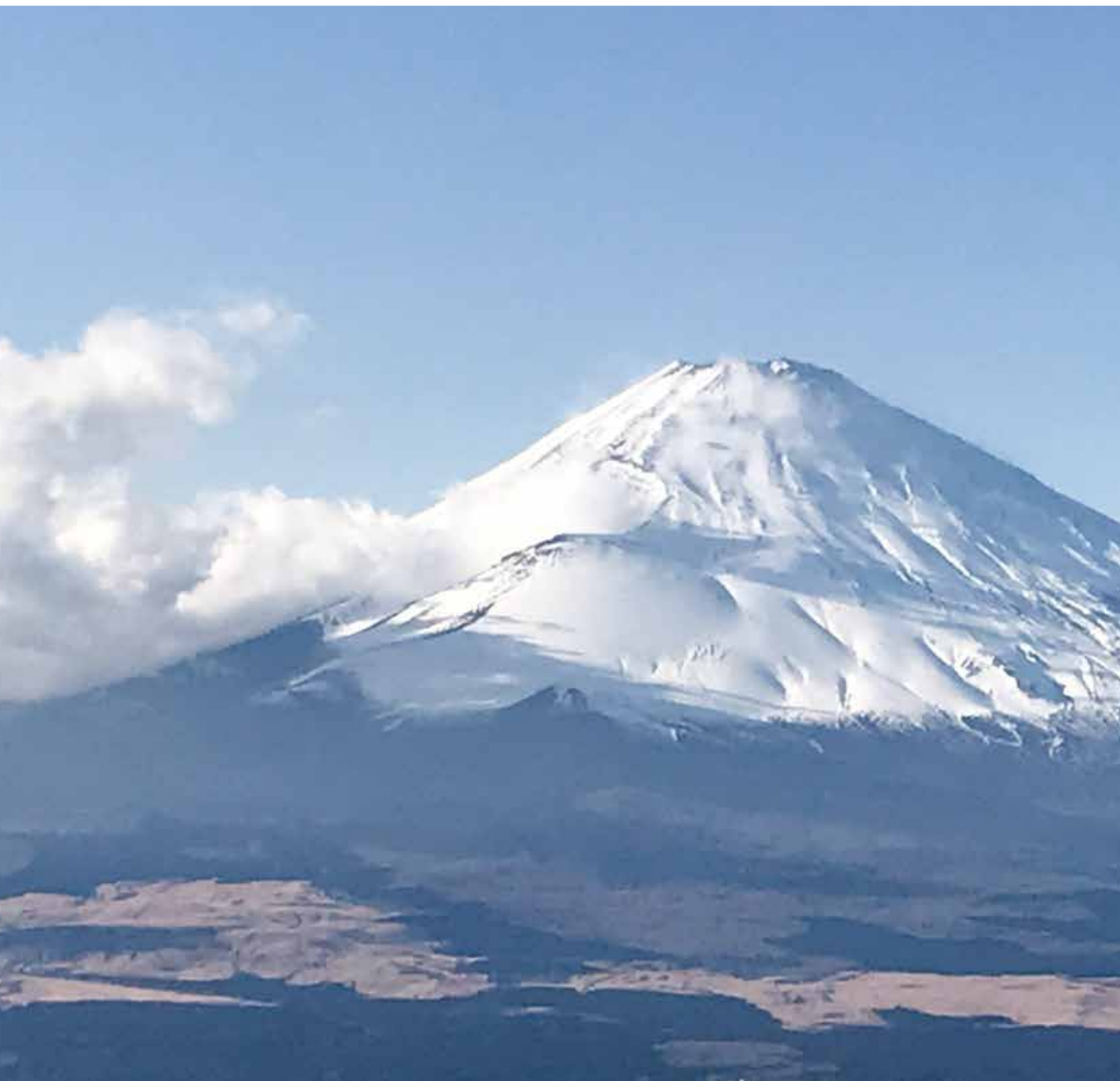
けんせつ 宇都宮

【題字】 宇都宮市長 佐藤栄一 様

CONSTRUCTION

vol. 317

2020



『霊峰富士』 岩原産業(株) 岩原 正樹 様 写真提供



一般社団法人 宇都宮建設業協会



令和2年 新年挨拶

一般社団法人 宇都宮建設業協会
会長 増 渕 薫

あけましておめでとうございます。令和初めとなる新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年10月に上陸した台風19号は、関東地方や甲信地方、東北地方などで記録的な大雨をもたらし、宇都宮・上三川地域におきましても、田川・姿川流域での浸水をはじめ、甚大な被害が発生いたしました。被災された皆様には心からお見舞いを申し上げます。そして、この度の災害に際し、昼夜を問わず活動された会員の皆様方のご尽力に改めまして敬意を表します。

今回の災害を目の当たりにして、県民や市民の安全・安心な暮らしを守るために、社会資本の整備・保全が極めて重要であり、強靱な国土づくりの推進は、一刻の猶予もない状況にあるものと改めて考えさせられたところであります。

一方、災害によって国民の心が沈みがちになる中で、ラグビーワールドカップにおける日本チームの活躍が日本中に元気を与えてくれたこともまた記憶に新しいところであり、東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、スポーツの持つ大きな力を改めて感じた年でもありました。

このような中で、昨年は、担い手確保・育成に向け労働環境の改善や生産性向上などを一層推し進めるための所謂「新・担い手三法」の成立をはじめ、働き方改革関連法の施行や建設キャリアアップシステムの本格運用開始など、建設業が魅力ある産業として輝くための環境整備が多く図られ、建設業界にとって大きな転換点となる一年でもありました。

我々地方の建設業には、社会資本整備の担い手として、さらには、災害時に最前線で活躍する安全・安心な地域の守り手として、大きな社会的役割を果たすことが期待されております。

その役割を将来にわたり責任を持って果たしていくためには、国の動きや社会経済状況などを的確に捉え、技術力の研鑽や施工力・経営力の向上に努めるとともに、優秀な人材の育成・確保に向けて、従事者が働きがいや誇りを持ち、生涯を託すことができる魅力ある職場づくりに取り組んでいくことが必要不可欠であると考えております。

協会といたしましても、建設業界における健全で安定した経営基盤構築のため、働き方改革に資する発注方法の実現や適正利潤の確保をうたった改正品確法の徹底、さらには将来にわたる持続的な事業量の確保に向けて、引き続き関係機関等への要望活動等を積極的に行ってまいりますので、会員の皆様のさらなるご支援・ご協力をお願い申し上げます。

結びに、令和2年が皆様にとりまして希望に満ちた明るい年となりますことを祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。



令和2年 新年挨拶



栃木県知事
福田 富一

皆様、あけましておめでとうございます。年頭に当たりまして、私の所信を申し上げます。
知事4期目の任期の仕上げの年となりました。私は、就任以来、現場主義を徹底するとともに、県民中心・市町村重視を基本として県政を進めて参りました。今後とも、県民や市町村等の声に真摯に耳を傾け、県民にとって何が最善かを考え、前例にとらわれることなく、県政が抱える課題の解決にスピード感を持って取り組んで参ります。

さて、昨年は台風第19号に伴う記録的な豪雨により、県内でも尊い人命が失われたほか、家屋や店舗、工場等の浸水をはじめ、河川・道路等の公共施設、農地や森林、農作物等に甚大な被害が発生しました。一日も早い被災者の生活の安定と被災地の復旧・復興のために、国や市町をはじめ関係機関と緊密に連携し、生活や生業の再建を全力で支援して参ります。

現在、本県が目指す将来像「人も地域も真に輝く 魅力あふれる元気な“とちぎ”」の実現に向け、来年度に計画期間の最終年度となる栃木県重点戦略「とちぎ元気発信プラン」の総仕上げを行うとともに、人口減少・高齢化、気候変動などに起因する諸課題に対応するため、中長期的な展望に立って次期プランの策定を進めております。

3月には、本県において東京2020オリンピック聖火リレーが実施されます。また、夏に開催される東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、ハンガリー選手による事前トレーニングキャンプの実施が予定され、多くの外国人観光客が来日することが予想されることから、拡大するインバウンド需要を取り込むほか、その2年後に本県で開催する第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」及び第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」につきましても、県民総参加で感動を共有できる大会となるよう、各種取組を着実に進めていきたいと考えております。

県民の皆様が未来に希望を抱き、ふるさとに誇りを持てるとちぎを創るため全身全霊で取り組んで参りますので、一層の御理解と御支援をお願いいたします。

本年が皆様にとって素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。



宇都宮市長
佐藤 栄一

昨年は、台風第19号の通過により、本市においても、田川・姿川流域を中心に浸水被害が発生いたしました。被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。

本年は、新たに設置した「雨水対策強化推進チーム」を中心とする「総合的な治水・雨水対策」をはじめ、市民の安全・安心に関わるあらゆる対策について、スピード感を持って取り組んでまいります。

また、3人制バスケットボール「3×3」の東京オリンピック出場国事前キャンプが、本市において開催されることから、パブリックビューイングなど、オリンピック競技を身近に体感できる取組を実施してまいります。

さらに、市民の皆様が全国に先駆けて最先端技術の恩恵を受けられるよう、来訪者の目的に応じて円滑な交通手段を提供する「Ma a S」の実証実験などの「スマートシティ」の取組を官民一体となって推進してまいります。

そして、国際社会共通の目標である「SDGs」の達成に向け、「SDGs未来都市」である本市は、子どもの貧困対策や高齢者の健康づくりをはじめ、LRTの整備などに率先して取り組み、「誰一人取り残されない社会の実現」と「持続可能なまちづくり」を進めてまいります。



上三川町長
星野 光利

謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

はじめに、昨年10月の台風19号では、東日本に甚大な被害をもたらし、多くの尊い命が失われました。犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災されました方々に心よりお見舞いを申し上げます。

この台風では、本町でも田川周辺の地域において住宅の床上浸水等が発生し、道路や河川が破損するなど広範囲で被害を受けました。しかしながら、幸いにも人的被害は無く、町民の命が守られたのは協会の皆様のご協力のおかげであります。また、災害発生直後の復旧活動では、献身的にご対応いただいておりますこと、改めて御礼申し上げます。

さて、今年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。昨年のラグビーW杯での日本代表の活躍で大いに盛り上がったことが記憶に新しいところではございますが、今年も日本選手が活躍し大会が盛り上がることを楽しみにしております。本町では、令和4年度のいちご一会とちぎ国体でフェンシング会場となる体育センターや周辺道路の整備、インター南産業団地の整備などが予定されています。これらの整備も重要でございますが、町民の安心安全のため災害復旧も早急に実施しなければなりません。これら喫緊の課題を町と事業者が「ONE TEAM」となって取り組んでまいりたいと思いますので、皆様におかれましても、昨年と変わらぬご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。



建災防栃木県支部

2019.11.19(火)

那須分会・宇都宮分会合同安全パトロール

(一社)宇都宮建設業協会と建災防栃木県支部宇都宮分会では、毎月安全パトロールを実施していますが、そのうち1回は他支部の方に参加していただく合同パトロールとなっています。

10月中旬に那須分会の方に参加していただく予定でしたが、台風19号の影響により実施が見送られました。そして今回11月20日に行われた那須分会主催のパトロールに我々宇都宮分会が参加させていただきました。

当日は、宇都宮分会から櫻井安全委員長・入江副委員長・大槌委員がパトロールに同行しました。大田原労働基準監督署をはじめ、大田原土木事務所、大田原市役所、建災防栃木県支部、那須分会の皆様とともに、「大田原中学校校舎増築工事」「道路改良工事400号三島その1」「構内排水工事」「県北家畜保健衛生所車庫新築工事」「県北

家畜保健衛生所備蓄倉庫新築工事」を拝見させていただきました。

皆様の講評から、作業所でのメンタルヘルスの重要性や安全パトロールの実施が安全指導を含めた研鑽の場であることなど学ぶべき点が多々ありました。

元請・下請、各事業所と作業員それぞれがコミュニケーションを図り、安全に対する共通理解を深めて当分会の労働災害防止に努めていきたいと思います。

(入江)



暴力団対策及び交通安全に関する講習会

2019.12.19(木)

宇都宮建設業協会は12月19日に栃木県建設産業会館にて『暴力団対策及び交通安全に関する講習会』を開催しました。

当日は会員企業から約60人が参加し、公益財団法人栃木県暴力追放県民センターと宇都宮中央警察署警備課、交通総務課より講師を招き、講話をいただきました。

講習に先立ち、増淵会長から『反社会的勢力の排除には、相手のことをよく知り注意深く対応していくことが



重要。また、本県では自動車の依存度が高いので交通事故への対策も大きな課題とし、有意義で実のある講習会にしてほし

い。』との挨拶をいただきました。

続いて暴追センターの橋本専務理事より講話があり、『反社会的勢力などへの対応として、現状と対策について』事細かく解説していただきました。

その後、宇都宮中央警察署の添田警備課長からは『右翼対策について』、廻谷交通総務課長からは『栃木県内の交通事故情勢について』それぞれお話をいただきました。

いつ自分に同じようなことが起こるかわかりません。実際に起きた様々なケースを取り上げながら、事前に準備しておくこと、その時の対処方法、相談先などをわかりやすく説明していただき、貴重な時間を過ごすことができました。

(若林)

委員会 活動報告

協会活動の正しい理解と活性化のために

総務委員会

今年度の総務委員会の主な活動は以下のとおりです。

- ①広報誌「けんせつ宇都宮」の発刊
「けんせつ宇都宮」は（一社）宇都宮建設業協会の活動や会員企業の動向などを広く地域の皆様や発注機関に知っていただくためのもので、年間3回（6、11、1月）発刊しています。
- ②研修会の計画・実施
今年度は現在宇都宮市が進めているL R T事業への積極的な協力と正しい理解のため、ロサンゼルス市のL R Tの視察、試乗の研修会を実施しました。会員企業からは15社の参加があり、多数の参加企業から「宇都宮市の事業への期待がより大きなものになった。」と評価がありました。
- ③インターンシップの受入対応
今年度は県内の工業系高校5校（宇都宮工業、宇都宮白楊、真岡工業、今市工業、小山北桜）より63名の高校生を会員企業40社で10月から11月にかけて受け入れました。研修期間は各校各学科とも月曜日から金曜日までの5日間であり、未来の建設技術者育成のための有効な指導・教育を実施することができました。（阿久津）

台風19号災害復旧支援に奔走～地域の守り手として～

建設委員会

建設委員会は、今年も「地域の守り手」として災害や鳥インフルエンザ等に即対応できるように備えてきたところ、遂に台風19号が上陸しました。10/12から建設産業会館内に対策本部を設け、建設委員全員が待機し河川のパトロールや通行止めなどを行いました。台風が河川護岸などに甚大な被害をもたらしたため、その後も災害復旧対応の窓口となり、建設業協会会員企業の皆様と共に迅速に応急仮工を進めているところです。

引き続き「愛りバーとちぎ河川清掃活動」などの社会貢献活動も継続してまいります。

- 【3月・5月・9月】愛りバーとちぎ清掃活動
- 【7月】栃木県河内地域鳥インフルエンザ及び口蹄疫対策連絡会議への出席
宇都宮市水防訓練への参加
川の日「田川クリーンアップ大作戦」の実施
- 【8月】宇都宮市総合防災訓練への参加
- 【9月】大型土のう製作機 試験施工
- 【10月】愛りバー交流会にて当協会の取り組みを発表
10/12、10/13 台風19号対策本部待機業務
災害復旧支援
- 【11月】土木の日クリーンアップキャンペーンの実施

（荒井）

安全意識の更なる向上を図る！

安全委員会

安全委員会の活動といたしましては、毎月1回の安全パトロールの実施、建災防栃木県支部並びに宇都宮分会主催行事の設営等の協力、暴力団対策と交通安全に関する講習会の開催等があります。

- 【4月・5月・6月・9月・12月・3月】非公開委員会パトロール（宇都宮労働基準監督署同行）
- 【7月・2月】公開パトロール
（宇都宮労働基準監督署・発注者担当者・建災防栃木県支部・建災防安全指導者・会員の店社安全管理責任者同行）
- 【7月】安全管理者講習会開催
建災防栃木県支部安全大会の設営協力
- 【8月・11月・1月】非公開パトロール（宇都宮労働基準監督署・建災防安全指導員同行）
- 【10月】合同公開パトロール ※台風19号による影響で中止
建災防宇都宮分会安全対策セミナーの設営協力
- 【11月】建災防那須分会主催合同パトロールへの参加
- 【12月】暴力団対策及び交通安全に関する講習会の開催

今後も労働災害の撲滅を目指して、会員各社の安全対策の推進を図ってまいります。

（入江）

社会に必要とされる協会を目指して

協組促進委員会

令和の時代に入り、建設業界自体のあり方も変化していかなければならない。地域との連携は積極的に関わる必要があるとともに、正確に未来のニーズを捉えての提案活動もしなくてはならない。地域に活かされている業界として、社会資本の整備・維持管理はもちろん、まちづくりへの関わりも模索していく。宇都宮市において、2022年4月開通予定の日本初の「L R T新設事業」への工事および維持管理への会員企業の専門的技術向上に向けて、引き続き、研修を重ねていく。

（上野）



2019.10.26(土)～30(水)

令和元年度研修旅行

平成も終わり令和を迎えた昨年、宇都宮建設業協会では宇都宮市が進めるLRT事業を後押しするべく、脱モータリゼーションの流れをアメリカ・ロサンゼルスで視察してきました。

なぜアメリカと思う方もいらっしゃると思いますが、いまアメリカの一部では低炭素社会の実現に前向きであり、自動車産業が盛んなデトロイトでもLRTが導入され、グローバルな変革を求められています。ロサンゼルスも例外ではありません。

研修参加者は、最近開通したダウンタウン中心部へ地下鉄で乗り入れる列車に、サンタモニカ海岸近くの駅からダウンタウンに向け実際に乗車してきました。列車はとても綺麗で乗り心地も素晴らしいものですが乗客が少なく、疑問を持ったので聞いたところ、「電車は低所得者の乗り物」というイメージがあるそうで、電車が根付くには少し時間がかかるかもしれません。

宇都宮市はLRTだけでなく、いろいろなプロスポーツが盛んです。例えば、森林公園で行われる国際的な自転車ロードレース「ジャパンカップ」などがあり、そこに参戦する世界各国のチームに混ざり、地元プロチーム「宇都宮ブリッツェン」が高成績を納めております。そのほかにも、サッカー「栃木SC」やバスケットボール「宇都宮ブレックス」などのプロチームが宇都宮をホームとしています。今回渡米した時期がバスケットボールNBA開幕戦の時期と重なり、日



本でも話題となった八村選手は観ることができませんでしたが、ロサンゼルスがホームのレイカーズの試合を観戦することができました。会場ではゲーム展開だけでなく、専用スタジアムの観やすさや観客を楽しませるエンターテインメント性に感動と興奮を覚えたアメリカ研修でした。

今回の研修旅行は、普段経験できないことばかりで、とても思い出に残り、これからの宇都宮市の発展を期待する気持ちとともにより強くなるとともに、会員相互の結束がより深まりました。

(原)





2019.11.27(水)
総合学習支援活動

『知る！分かる！ 液状化！』

去る11月27日、宇都宮市立城山中央小学校において、総合学習支援活動を実施しました。今回の活動は例年、栃木県県東環境森林事務所様・宇都宮土木事務所様が市内小学校において「出前講座」を開催しているところへ我々宇都宮建設業青年の会もご一緒させていただき実施することができました。

行政の皆様が「山地防災」についての授業をされていることから、我々も災害をテーマとして今回は地震の際に起きる現象の一つ「液状化」について児童の皆さん（5年生）に体験型の学習をしてもらえるようなプログラムを企画いたしました。

初めにスライドを使用して液状化が発生する仕組みを学んでもらい、その後、模型による実験を見学。続いて児童が長靴を履いて水分を含む砂の入ったプラスチック製のケースの上に乗り、両側から振動を与えることによって自分自身が砂に沈んでいくという体験を

してもらいました。

今回の活動を通して児童の皆さんに災害は身近に起こりうるものであること、それに対する備えや心構え、そして我々建設業の果たす役割を少しでも学習し、体験してもらえた貴重な時間となりました。また、児童の皆さんが災害や防災のこと、そして建設業について、それぞれの家庭において話題にしてくれることを期待しています。

最後になりますが、今回の総合学習支援活動を実施するにあたり、県東環境森林事務所様及び宇都宮土木事務所様には多大なるご協力をいただきましたこと、そしてお忙しい時期にこのような場をご提供いただきました城山中央小学校の刀川校長先生をはじめ担任の先生方に対し心より感謝申し上げます。

(入江)



(スライドによる説明)



(模型を使った実験)



(砂に沈んでいく実験)





2019.12.12(木)
総合学習支援活動

『砂場クリーン 大作戦！』

令和元年12月12日、宇都宮建設業青年の会は今年で3回目となる総合学習支援活動「砂場クリーン大作戦」を上三川町の「やしお幼稚園（99名）」「サニーサイドインターナショナル（85名）」において実施いたしました。

今回は隣接する二つの幼稚園において二か所同時に同じ内容を実施するため、会員も二班に分かれての開催となりました。

内容としましては、例年どおりですが、

- ①「砂場クリーニング」…既存砂場の砂を園児がふるい掛けをして、小石やゴミを取り除いてもらう。
- ②「建設業を紹介する紙芝居」の観覧。
- ③重機搭乗体験…我々会員と一緒に建設機械に搭乗してもらい、実際に操縦体験を行う。

※すべての行程終了後に砂場に新しい砂を搬入しました。

グループごとに分かれた園児たちに順番に体験して

もらい、それぞれの体験において園児たちは楽しみながら興味を示してくれました。

今回のイベントでは、栃木県のマスコット「とちまるくん」と上三川町のマスコット「かみたん」にもイベントに参加してもらい、園児たちを盛り上げていただきました。また、当日は上三川町の星野町長も現場視察にお越しいただきありがとうございました。

最後に、今回の総合学習支援活動にご協力を賜りました「やしお幼稚園・サニーサイドインターナショナル」の園長先生をはじめ先生方、並びに関係者の皆様に心より感謝申し上げます。また、今回は園の保護者の皆様にも写真撮影などご参加いただき誠にありがとうございました。

当青年の会としては、園児はもちろん、その保護者の方々にも建設業という業界を知ってもらうためにも、今後もこの活動を継続していきたくと思います。

(入江)



(砂場をきれいにしました)



(紙芝居を真剣に聞いてくれました)



(本物の操縦を体験)



(かみたんも一緒に記念撮影)



宇都宮マラソン大会

2019.11.17日

11月17日、令和となって初めての宇都宮マラソン大会が開催され、第33回を数える今大会でも、青年の会ではコース設営作業を担いました。秋の晴天に恵まれた当日の気温は程よく涼しく、櫟の木陰を疾走する5,800人の参加ランナーだけでなく、コーン約2,200個、バー約1,000本を設置する青年の会参加メンバー29名にとっても心地よい汗を流すことのできる一日となりました。会員皆様の安全かつスムーズな作業によって、トラブルなく予定どおり設置・撤収を完了することができましたことに御礼を申し上げます。

大会は参加者だけでなく、応援の家族・友人も楽しめるような工夫がされており、ステージでのパフォーマンスやご当地グルメのブースが活況を呈していました（中でも地元の方が大鍋で作る「鬼怒の船頭鍋」には長蛇の列ができていました）。

いよいよ2020年は東京オリンピック、そして2022年

には「いちご一会とちぎ国体」がやってきます。大会施設といったハード面の整備は非常に重要ですが、それを継続的に市民が活用していく機運の醸成も大切です。そのような環境づくりを支える「縁の下の力持ち」としての本活動は、ますますその重要度を増していくものだろうと感じました。

(野中)



新

社

長

紹

介



株式会社 興建

代表取締役社長 福田 嘉貴

平成31年1月15日より代表取締役社長に就任いたしました福田嘉貴（ふくだよしき）でございます。

宇都宮建設業協会の皆様には日頃より大変お世話になっております。また、宇都宮建設業青年の会においても、活動を通してたくさんの経験を積ませていただき誠にありがとうございます。

入社してからの17年の間に、施工管理、積算業務を経て、最近10年間は主に経理及び財務管理を行ってまいりました。

弊社は、1968年（昭和43年）に創業いたしました。長年にわたり存続できたのは、宇都宮建設業

協会様はじめ、地域の皆様、県内外の多くのお客様などからのご愛顧、ご支援があってこそ深く感謝申し上げます。

昨今の建設業を取り巻く環境は、デフレ期を底に好転しつつあるとはいえ、他方で、建設業従事者不足の問題と、これに伴うコスト高、そしてオリンピック後に予想される需要の大幅な減少の問題があります。これらの課題に対処するため、新たな経営計画として堅実な財務基盤、継続的な事業改善を策定し、安定的成長を実現してまいりたいと考えております。

今後も、皆様のご要望に迅速かつ、きめ細やかな対応で、地域社会に貢献できるセールスエンジニア集団を目指し、社員一丸「ONE TEAM」精神で努力していく所存でございますので、宇都宮建設業協会の皆様には、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

宇都宮の未来を担う若者を応援してください！ ～宇都宮市育英基金への寄附のお願い～

経済的理由のために修学を断念せざるを得ない子どもたちを支援し、未来の宇都宮市を担う優秀な人材を育成するために貸し付ける奨学金「返還免除型育英修学資金貸付制度」において、その返還の免除に必要な財源に充てるため、寄附金を原資とした「宇都宮市育英基金」を設置しております。

企業の皆さまからの寄附金を広く募集しております。趣旨へご賛同いただき、ご支援いただけますようお願いいたします。



令和元年5月に開催された感謝状贈呈式の様子

寄附者には市長より感謝状を贈呈し、教育委員会広報紙や市ホームページで企業名を周知しております。また、本制度は、「宇都宮まちづくり貢献企業」として認証されるための項目の1つに該当します。

～ご協力いただいた企業の皆様～

- ・光陽電気工事株式会社様
- ・株式会社インターテクノ建設様
- ・株式会社創建設計様ほか

宇都宮市ホームページ

育英基金

検索



【問合せ】宇都宮市教育委員会事務局 教育企画課 ☎028-632-2705

e-mail: u4612@city.utsunomiya.tochigi.jp

(※「宇都宮まちづくり貢献企業 認証制度」については、

宇都宮CSR推進協議会事務局：☎028-632-2433へお問い合わせください。)

第25回忘年かすのこゴルフコンペ開催

2019.12.26 木

伝統の忘年かすのこゴルフコンペが12月26日に宇都宮カントリークラブにおいて、23名が参加し開催されました。

当日は天候にも恵まれ、競技は18ホールストロークプレーでペリア方式にて行われました。今年最後のゴルフになった方も多くいらっしまったと思いますが、一年間の思いを存分に発揮され、会員間の親睦を深め、楽しい一日を過ごすことができました。

結果は、中村土建(株)代表取締役会長の渡邊勇雄さんがネット63.2のスコアで見事に令和元年度優勝者として名を刻みました。また、ベスグロは86のスコアで(株)カクタ技建代表取締役の佐々木隆さんが堅実なプレーをされ獲得しました。

新時代のコンペを終え、ゴルフは技術面、体力面はもちろんですが、さらにメンタル面の難しさを改めて実感しました。(亀和田)



計
報

陽西建設株式会社 代表取締役会長 木村朝雄氏

木村朝雄様(享年77歳)におかれましては、令和元年12月17日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年も「けんせつ宇都宮」をよろしく願います。2019年ラグビーワールドカップでは、プレイヴ・ブロッサムズ(日本代表)が悲願の決勝トーナメント初進出を果たすなど日本全体が熱狂の渦に巻き込まれた。また、日本代表のみならず各国代表の試合に

も胸が熱くなった。歓喜の渦に巻き込まれた日本列島は、いよいよ2020東京オリンピック・パラリンピック開催の年。間違いなく全世界が歓喜の渦に巻き込まれることだろう。

「ONE TEAM」そんな建設業界を目指して今年も頑張りたい!(渡邊)

けんせつ
宇都宮

■1981年7月創刊
■2020年1月24日発行
■発行：一般社団法人宇都宮建設業協会
■会長：増淵 薫

■編集：総務委員長 渡邊 幸雄
■TEL：028-636-5221
■URL：http://ukenkyo.org/
■E-mail：ukenkyo@ukenkyo.org

■印刷所：藤崎印刷株式会社
■TEL：028-633-4530
■E-mail：fff@olive.ocn.ne.jp

